

## 7 ジムグリ

(ナミヘビ科)

兵庫県ランク:要注目

*Euprepiophis conspicillatus*

環境省ランク:-

## 種の概要

日本の固有種で、本土のほぼ全域と周辺離島に分布する。毒はなく大きさは成体で全長80～90cm程度。背面の地色は幼体では赤褐色で、細かい黒斑が散らばる。腹面の地色は淡褐色ないし象牙色で、黒色の横帯が不規則に散らばる。成長とともに背面の赤味は失われ、黒斑も目立たなくなる。



## 県内における生息状況及びその他特記事項

県内での発見例は決して多くないが、これは数が少ないだけでなく、本種の半地中性の性質にも起因していると思われる。

写真提供:太田 英利

## 保護上の留意点

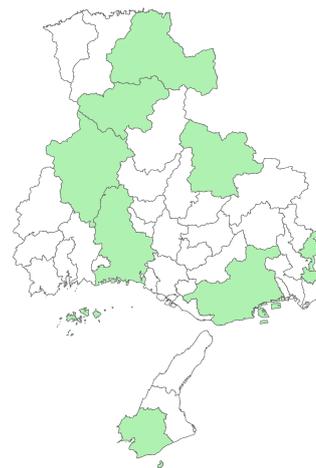
本種は幼蛇期を除き、ハタネズミやジネズミなどの地中性ないし半地中性の小型哺乳類を専食することが知られている。したがってこうした餌の豊富な環境を維持することが、ジムグリを保護してゆく上での留意点と考えられる。

## 県内分布

神戸市、伊丹市、川西市、姫路市、宍粟市、豊岡市、養父市、丹波市、南あわじ市

## 主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	
	捕獲	
特殊性	遺伝	
	特殊	△
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	△



【執筆者】太田 英利